

第5学年国語科学習指導案

日 時 平成16年11月19日(金)
児 童 男5名 女6名 計11名
指導者 教諭 皆川昌枝

1 単元名
地球環境について考えよう

2 教材名
「一秒が一年をこわす」 伊藤 和明

3 教材について

第5学年及び第6学年の「読むこと」に関する指導目標は「目的に応じ、内容や要旨を把握しながら読むことができるようにする能力」を育てることである。この学年の発達段階の特徴として、文章の種類に応じた読みができるようになることがあげられる。その特徴を生かして、作者や筆者の述べたい内容や述べ方をとらえることが学習の中心となる。

「一秒が一年をこわす」は、三つのまとまりの「科学技術の発達と地球環境の悪化」「地球の誕生・人類の誕生」「人類のおごりと地球からのしっぺ返し」について読み取る。筆者の地球環境に対する考えを読み取ることを通して、児童が筆者のものの見方・考え方、論理の展開の仕方を正確に読み取る力を培うことをねらいとしている。

また、子どもたちは、教材文から今まで当たり前のこととして見過ごしてきたことが環境破壊につながっているという事実を知らされる。そして、この破壊につながる活動が地球の一生に比べ、ほんのわずかな時間に行われたという事実から、このままでは地球が危ない、自分たちができることはないかなど、環境問題に目を向けさせることができる。そして、情報を処理し、新たな情報を発信することで、思考力を培い、理解力を蓄えることができるものとする。

4 児童の実態について

子どもたちは、明るく活動的で、目的のはっきりした学習には積極的に取り組んでいる。授業中の発言も多く、意欲的な活動が見られる。しかし、じっくりと学習に取り組んでいくことは苦手としている。国語に関していうと、音読には一生けんめい取り組んでいる。また、感覚的に言葉をとらえる力についてはあるものの、叙述に即して正確に読み取ることがまだ不十分である。このような実態をふまえ、難語句の意味や漢字の読みの指導を十分に行なった上で、音読を大切にしながら学習を展開していきたい。耳慣れない言葉や実感のわからない表現の多い文章であるが、何度も読ませることで、抵抗感を払拭していきたいと考える。

これまで子どもたちは、「海にねむる未来(5年上)」で、筆者がどのような文章の構成をし、叙述の仕方の工夫をしているか注意して読み、要旨をとらえる学習をしてきた。時間のかかる子どももいたが、中心文を基にしてまとめるといった方法を身につけてきた。本教材では、このような学習を生かし、要旨をとらえ、自分の意見を持つことができるようにさせていきたい。

この地区には、大きな環境破壊はないが、昔とは確実に環境が変わってきていることを祖父母の話から聞いている子どもが多い。しかし、地球規模の環境となると、テレビ番組の情報などで聞きかじっている程度である。この教材文によって、環境破壊の事実が、自分たちのそばまで迫っていることを知らされるはずである。

5 指導にあたって

これからの時代を生きていく子どもたちにとって、環境の問題は避けて通れない問題である。漠然とした環境問題についての意識を整理して、認識しておくことは大切であるとする。ごみを道に捨てない、川を汚さないなどの行動様式を身につけることは低学年から行われなければならないが、身近から地球規模までの環境問題を認識として持つことは、高学年の児童にぜひとも必要である。そのためにも、教材文を正しく理解することが重要である。

まず、「一秒が一年をこわす」という題に着目させ、「一秒」「一年」が何をたとえているのかを、考えさせたうえで、発問を大事にした授業展開により、正確に読み取る力をつけていきたいと考える。

「選択」させる発問で、科学技術の発達と地球環境の悪化の様子、地球の誕生と人類の誕生という事実、人類のおごりについて正しく読み取らせたい。また、「統合」させる発問により、「地球が重い病気」「地球の自然とうまく付き合いながら」などの文で表現されていることを想像したり、同じ意味を持つ表現をみつけたりする力をつけたい。更に、筆者の思いを「類推」させる発問で考えさせていきたい。

この教材では、「内容を的確に押さえること」「事例と感想・意見の関係を押さえること」「要約すること」「要旨をまとめること」「自分の考え(課題)を持ちながら読むこと」を取り上げ、ワークシートやノートに書く活

動を取り入れながら進める。また、内容の読み取りを確かなものにするために、文章の中の接続語や指示語、キーワードに気をつけて読ませたり、言葉・語句・文の示す意味内容を実感に照らし合わせてとらえたりする活動も大切にしたい。

6 指導目標

地球環境について考えながら、文章を読んで要旨をとらえ、自分の課題を持つ。

課題について調べたことを整理して資料をつくり、「子ども環境会議」を開いて、考えを深める。

〔国語への関心・意欲・態度〕

・環境問題について興味・関心を持ち、「一秒が一年をこわす」を進んで読み、地球環境について調べようとする。

〔読むこと〕

・文章の内容を的確に押さえながら、筆者の訴えようとしたこと（要旨）をとらえる。

・書かれている内容について、事実と感想・意見の関係を押さえ、自分の考えをもちながら読む。

〔書くこと〕

・調べたことの中から、必要な事柄や資料を選び、整理する。

・会議で発表するために、図・グラフ・ビデオ・OHPなども用いて、わかりやすく効果的な資料を作成する。

〔話すこと・聞くこと〕

・資料を示しながら、自分の考えを発表する。

・「環境に関して自分たちができること」という議題に関して、自分の立場を明確にし、積極的に意見を出し合う。

〔言語事項〕

・文と文、段落と段落の接続関係を考えて、指示語や接続語を適切に使う。

・比喩が何を指しているか考えながら読む。

単元の評価規準

〔国語への関心・意欲・態度〕

・環境問題について興味・関心を持ち、地球環境について進んで調べようとしている。

〔読む能力〕

・文章の内容を的確に押さえながら、筆者の訴えようとしたこと（要旨）をとらえている。

・書かれている内容について、事実と感想・意見の関係を押さえ、自分の考えを持ちながら読んでいる。

〔書く能力〕

・調べたことの中から、必要な事柄や資料を選び、整理している。

・会議で発表するために、わかりやすく効果的な資料を作成している。

〔話す・聞く能力〕

・資料を示しながら、自分の考えを発表している。

・「環境に関して自分たちができること」という議題に関して、自分の立場を明確にし、積極的に意見を出し合っている。

〔言語についての知識・理解・技能〕

・文と文、段落と段落の接続関係を考えて、指示語や接続語を適切に使っている。

・比喩が何を指しているか考えながら読んでいる。

7 指導計画と評価規準（14時間）

段階	学 習 活 動	評 価 規 準	時間
つかむ	<ul style="list-style-type: none"> 学習の見通しをもつ。 「一秒が一年をこわす」の全文を読み、難語句を確かめ、感想を書く。 学習課題を作り、学習計画を立てる。 	〔国語への関心・意欲・態度〕 教材文を読んで、地球環境について関心を持ち、学習をしようとしている。 〔読む能力〕 学習の見通しを持ち、学習課題や学習計画の立案をしている。	1
よみとる	<ul style="list-style-type: none"> 意味段落（形式段落）を読む。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 便利な生活と地球環境への影響を読み取ろう。 </div> 	〔読む能力〕 便利な生活を送るために、地球環境に影響が出てきたことを読み取っている。 〔言語についての知識・理解・技能〕 比喩が何を指しているか考えながら読んでいる。	1
	<ul style="list-style-type: none"> 意味段落（形式段落）を読む。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 地球が誕生してから人間が便利な生活をつくりあげるまでの流れを読み取ろう。 </div> 	〔読む能力〕 地球環境が危機的な状況にあることを読み取っている。	1
	<ul style="list-style-type: none"> 意味段落（形式段落）を読む。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 「地球の歴史」と「人類の歴史」を比べ、筆者の主張をつかもう。 </div> 	〔読む能力〕 「地球の歴史」と「人類の歴史」を比べ、筆者の主張を読み取っている。	1 (本時)
	<ul style="list-style-type: none"> 「一秒が一年をこわす」の要旨を書く。 	〔読む能力〕 地球環境についての筆者の考えを知り、自分なりの考えを持っている。 〔言語についての知識・理解・技能〕 比喩が何を指しているか考えながら読んでいる。	1
	<ul style="list-style-type: none"> 「ホタルのすむ水辺」を読み、筆者の主張をさぐる。 	〔読む能力〕 筆者の主張を読み取っている。	1
かんがえる	<ul style="list-style-type: none"> 身の回りの環境について、自分の課題を持って調べる。 	〔書く能力〕 調べたことの中から、必要な事柄や資料を選び、整理し、発表のための資料を作成している。 〔言語についての知識・理解・技能〕 文と文、段落と段落の接続関係を考え、指示語や接続語を適切に使っている。	5
いかす	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちの調べたことを生かし、子ども環境会議を開く。 	〔話す・聞く能力〕 自分の立場を明確にし、環境について意見を出し合いながら話し合っている。	3

8 本時の指導

(1) 目標 「地球の歴史」と「人類の歴史」を比べ、筆者の主張をつかむことができる。

(2) 展開

段階	学習活動 及び 学習場面	主な発問	予想される児童の反応	指導上の留意点	評価
つかむ 5分	1 前時までの学習内容を確認する。 2 学習課題を確認する。 3 学習範囲を音読する。 (形式段落)	・前の時間のまとめは、どのようなものでしたか。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">「地球の歴史」と「人類の歴史」を比べ、筆者の考えをつかもう。</div>	・人類は、誕生してから長期間、地球の自然とうまくつきあいながら生きてきたが、二百年ほどの間に、便利な社会を作り上げ、地球環境をこわしている。	・壁面掲示や前時の学習の方法や内容を思い出させたい。 ・「地球の歴史」と「人類の歴史」がどのくらいなのか、何にたとえられているかに気をつけながら読ませる。	
ふかめる 27分	4 学習範囲を読み深めていく。 (P43L5～P44L13) ワークシートを活用し、記述内容を確認する。 順を追って内容を読み取る。	・「地球の歴史」と「人類の歴史」を比べてみましょう。(選択) ・地球の歴史はどのくらいですか。(選択) ・人類の生きてきた時間はどのくらいですか。(選択) ・何を1年とたとえていますか。(選択) ・何を7時間とたとえていますか。(選択) ・「わずか七時間ほどしか」という言葉から、筆者のどんな気持ちが考えられますか。(類推) ・「人類は、地球と仲良くしながら生きてきた」というのは、どのようなことをいうのでしょうか。(統合)	・46億年と400万年 ・1年と7時間 ・1年と1秒 ・46億年 ・わずか350万年前から400万年前ほどにすぎない。 ・46億年 ・地球の歴史 ・人類の歴史 ・人類が生まれて今までの時間 ・350万年前から400万年 ・地球の歴史がとても長い。 ・人類の歴史がとても短い。 ・地球の歴史に比べて、人類が生まれて少ししかたっていない。 ・生物の一員として、地球の自然とうまくつきあいながら、生きてきた。	・ワークシートに書き込みながら、たとえられていることを自分なりに整理させる。 ・「わずか～しか」という言葉で、人類の歴史が本当に短いものであるということをつかませたい。 ・前時までの学習と関連付けながら、考えさせる。	

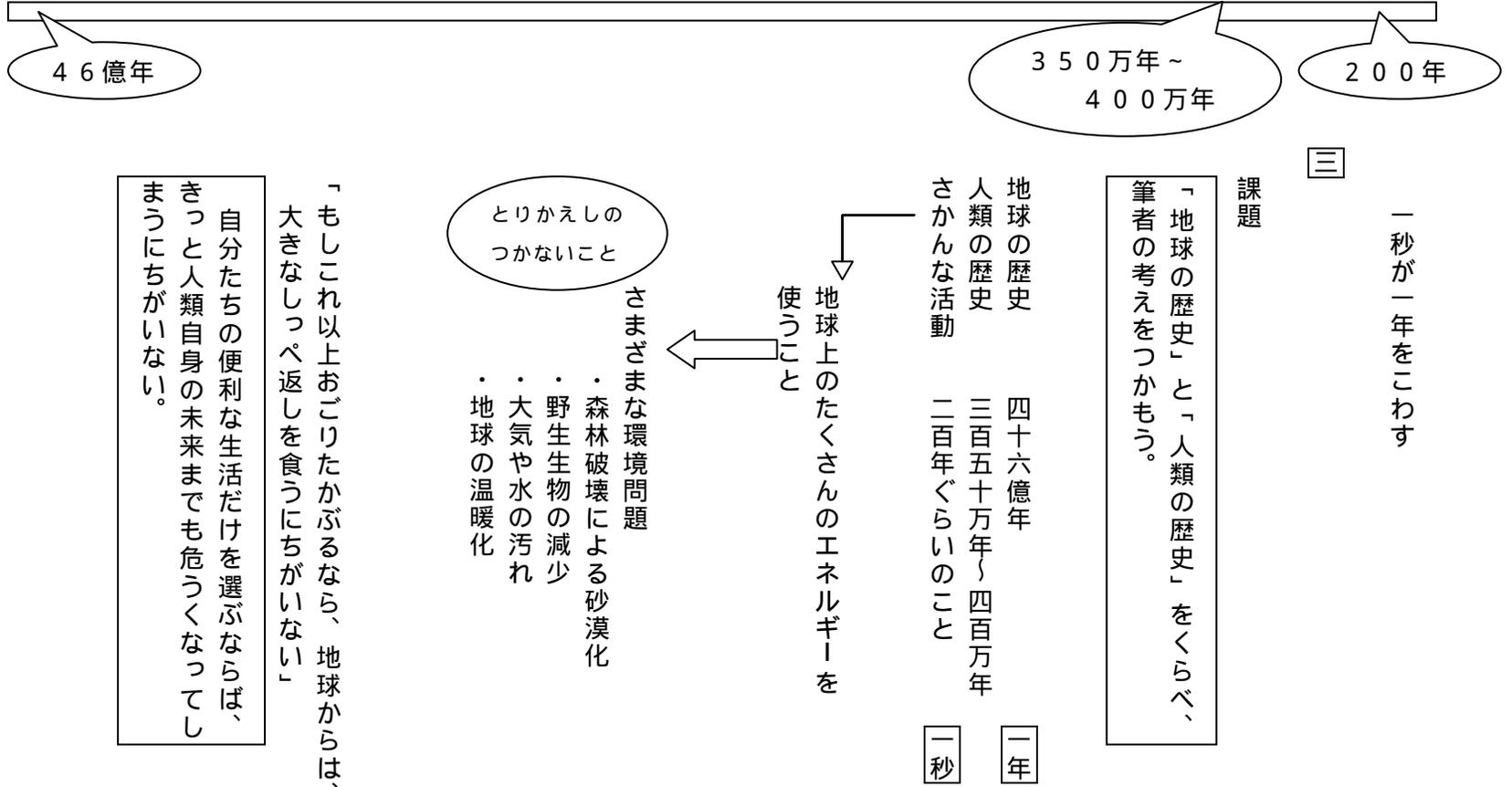
	<p>筆者の考えをまとめ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「一秒ちょっとの時間」というのは、どんな時間を表していますか。（統合） ・人類のさかんな活動とは、どのようなことをいうのですか。（統合） ・さまざまな環境の問題とは、どのようなことをいうのですか。（統合） ・「地球に対してとりかえしのつかないこと」を言いかえるとどんな言葉になりますか。（類推） ・「もし、これ以上おごりたかぶるなら、地球からは、大きなしっぺ返しを食う」ということは、筆者は何を警告しているのでしょうか。ノートに書いてみましょう。（類推） 	<ul style="list-style-type: none"> ・人類のさかんな活動の結果として、さまざまな環境の問題を引き起こすようになった時間 ・わずか200年ぐらいのこと ・便利な生活をおくるために、地球上のたくさんの資源やエネルギーを使うこと。 ・森林破壊による砂漠化 ・野生生物の減少 ・大気や水の汚れ ・地球の温暖化 ・さまざまな環境の問題 ・人類が、環境のことを考えない行動をとっていくなれば、人類が生きていけなくなってしまう。 ・自分たちの便利な生活だけを選ぶならば、人類自身の未来までも危うくなってしまうだろう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ここでも、「わずか」という言葉が使われていることに注意させる。 ・1のまとまりとの関連が大きい。想起させながら進める。 ・「おごりたかぶる」「しっぺ返し」という言葉の直接的な意味とともに、この文を通して、筆者が訴えたかったことを自分なりに考えさせたい。 <p>〔指導を要する児童への手立て〕 これまでの学習をふり返り、おごり高ぶった行動とはどのようなことかをつかませ、このままいくと、地球や人類がどうなるのかを考えさせる。</p>	<p>〔評価規準〕 「地球の歴史」と「人類の歴史」を比べ、筆者の主張を読み取っている。</p> <p>〔具体の評価規準〕 A: 「おごりたかぶる」「しっぺ返し」の具体的な内容を入れながら、筆者の考えをまとめている。 B: 筆者の警告していることを書いている。 (ノート・発言)</p>
<p>13分</p>	<p>5 学習段落をまとめる。</p> <p>6 今日の学習を振り返る。</p> <p>7 次時の学習の確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・まとめの音読をしましょう。 ・今日の学習で分かったこと、驚いたこと、感動したこと等を書きましょう。 ・「一秒が一年をこわす」の要旨をまとめます。 	<p>(全員音読)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境がどんどん悪くなっているのが驚いた。 ・一年かけて築いたものを一秒で壊してしまうなんて大変なことだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習だけでなく、これまでの学習内容も含めながら、書かせる。 	

9 板書計画

1年

7時間

1秒



10 座席表

教卓			
I . A 発表 読むこと	I . A 発表 読むこと	O . D 発表 読むこと	O . S 発表 読むこと
I . S 発表 読むこと	S . T 発表 読むこと	C . T 発表 読むこと	H . R 発表 読むこと
S . M 発表 読むこと	S . Y 発表 読むこと	O . Y 発表 読むこと	

〔発表〕

意欲的に自分の考えを発表する。
自信があることはすすんで発表する。

〔読むこと〕

書かれていることを正しく読み取ることができる。
書かれていることを概ね読み取ることができる。